



○ 使用済み切手を

笠松中央公民館一階調理室前に、わがまちの「ちよっといひ話」

(拡大版) が掲示して

ある。その脇に、使用

済み切手収集のための

封筒をつけた。当初、誰

からも関心を払われず、最近やっと少

ずつ切手が入るようになった。ところが

三月二十三日と四月二日に、その封筒

が大きく膨れあがっていた。入ってい

た切手の総数は七〇一枚。どなたかが

この封筒に気づき、切手集めを心がけ

入れていただいたの

だ！温かい心が伝わ

ってくる。

○ そのきっかけは！

昨年十一月、道徳のまち笠松推進会

議で情報誌「ささえ合うまち」を発行し

た。町内で活動されているボランティア

アやNPO団体の活動を紹介する手作

り情報誌である。その編集時に、福祉

ボランティアグループのひとつ「木曜

めぐみ会」から、最近切手が集まりに

くくなっていると聞いた。道徳のまちづ

くりでも協力してはということ、収集

用の封筒を取り付けたのである。

○ 「つどい」でもアピール！

使用済み切手収集は、社会福祉協議

会からも広報一月号でお願いされてい

る。また、去る二月十九日の「道徳の

まち笠松のつどい」においても「わが町

の今を語る」の中で、「ささえ合うまち」

部会長の葛谷昌彦さんが、使用済み切手

収集のよ

うな活動

への協力

は「ささ

え合うまちづくり」につながる大切な活

動です。皆で取り組みましょうと呼び

かけられた。



○ 「ちよこボラ」活動で

そんな中での出来事であった。身近

な地域やまわりの人を気遣い、自分で

できることをやろう。そんな思いで生活さ

れている方がおいでになる証である。こ

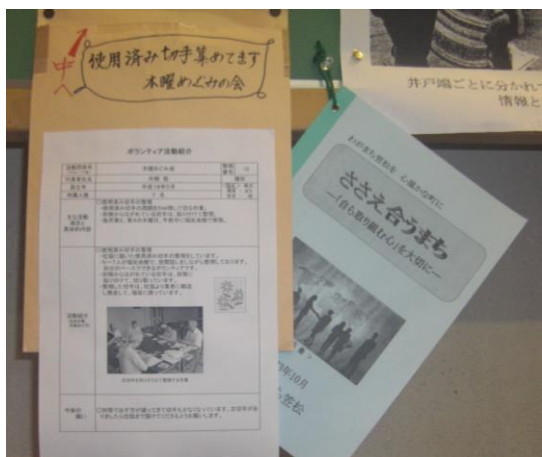
うした取り組みが町内に広がれば、す

ばらしい！活動に、ちよこつと取り組

むという意味で略して「ちよこボラ」活

動。全町民による「ちよこつと」は、途

方もなく大きな力になる。



使用済み切手収集の茶封筒と ボランティア情報誌「ささえ合うまち」